

【自衛隊基地「強靱化」問題ビラの文章サンプル】

知っていますか？私たちの町の
〇〇基地が
核攻撃をも想定した「強靱化」計画の対象に

故郷を戦場にする大軍拡に反対しましょう

【写真、図】

◎これが〇〇基地です（写真か図）

◎2022年12月23日、防衛省整備計画局資料「自衛隊施設の強靱化に向けて」より

【本文】

□□にある自衛隊〇〇基地が、核兵器などによる攻撃を想定した「強靱化」計画の対象になっていることを、ご存じですか？

岸田政権が今年度から5年間で43兆円もの血税を投入して進める大軍拡計画の一環です。

■米軍と共に他国を攻撃

大軍拡計画では、これまで歴代政府も憲法9条の下で「持てない」としてきた、他国領土を直接攻撃できる「敵基地攻撃能力」（反撃能力）の保有を決定。射程1000^{キロ}～3000^{キロ}の長射程ミサイルを全国に大量に配備します。

これで、米軍と一体となって、自衛隊も他国を先制攻撃する態勢をつくろうというのです。

そうすれば、攻撃を受けた相手は、当然、日本に報復攻撃してきます。この日本の戦場化に備えるものです。

■報復攻撃で住民に深刻な被害が

そのため、今後5年間に4兆円もの予算で、全国300地区約23000棟の自衛隊施設の「強靱化」をすすめるのです。その計画書では、核爆発が生む電磁波で電子機器が損傷・破壊されることを防ぐ対策や、核・生物・化学・爆発物による攻撃に対処するための構造強化、施設の地下化や壁厚の増強、放射能流入防止フィルターの設定など、日本が核攻撃される事態さえ想定しています。このとき、基地周辺の住民が壊滅的被害を受けることは明らかです。

■住民に説明すべきです

これが、いま岸田政権が進めている大軍拡計画のもたらすものです。この軍拡のために、国民1人当たり5万円の負担増を押し付けようというのです。

私たちの故郷を戦場にするこの大軍拡計画、そして、〇〇基地の「強靱化」計画に反対しましょう。どんな事態を想定し、どんな工事をすすめるようとしているのか、政府は住民に説明すべきです。軍事費を暮らし・福祉・教育に回すべきです。